



付き合い方の改善

自然とどう向き合っていくのか、過去から学び、考えなおす時が来ています。

この公園におけるビーバーの管理はかつて、ビーバーを駆除したり捕まえて移動させたりしていましたが、長期的に見るとその方法は成功しませんでした。住んでいたビーバーがいなくなることで新たに別のビーバーが移り住んできたり、生態系にとって重要な役割を持つビーバーを取り除くことで、生態系のバランスが崩れたりしたのです。

ビーバーがどのように自然界に貢献しているかを理解することで、私たちはビーバーに敵対するのではなく共に生きる術を見つけることが、人間だけでなく野生動物、森などすべての生き物にとって最善だと考えています。

フレンズ オブ フィッシュクリークはビーバーとの共存を目的とした水量を調節する装置と除外フェンスを設置しました。水量調節装置はビーバーが冬でも生き残れるように十分な深さを保ちつつも、遊歩道が洪水に合わない程度に水量を低く保ちます。

やってみよう！

これらの人工の雨水調整池をみてください。ビーバーがつくった池と似ている点はどこでしょう。

訳：上池久美子

画像提供：ケイティ・バッケン

